

## 第5回「平和と繁栄の回廊」構想四者閣僚級協議

### 藺浦外務副大臣による開会スピーチ

(2016年9月7日 於：オアシス・ホテル (ジェリコ))

- 外務副大臣として再びパレスチナを訪問し、3年ぶりとなる「平和と繁栄の回廊」構想4者協議を開催できることを喜ばしく思います。
- 「平和と繁栄の回廊」構想は、2006年、当時の小泉総理が当地を訪問した際に提唱し、2007年には、当時の麻生外相によって、この四者が一堂に会する協議枠組みが立ち上げられました。
- あれからちょうど10年の歳月が流れました。この間、中東和平プロセスは、和平会議の開催、ガザ紛争、和平交渉の再開と決裂などの紆余曲折がありました。
- このような状況下でも、我々四者は「平和と繁栄の回廊」構想の下、パレスチナ経済の着実な発展に向けて手を携えて取り組んできました。
- そして、昨年ついに旗艦事業である「ジェリコ農産加工団地 (JAIP)」で企業が実際に雇用を生み、生産を開始したことは大きな進展です。これまでの関係者の忍耐強い努力と協力に改めて心からの敬意と謝意を表します。今後製品の流通に向け、ヨルダンとの協力も重要となってきます。
- パレスチナ経済の自立化が二国家解決にとり極めて重要です。本日の会合の開催及びその成果、そしてJAIPの更なる進展が、和平実現を希求するイスラエル及びパレスチナの市民、並びに国際社会の全ての関係者を導く光となることを確信しています。

(了)